

募集要項

Safety Leader



(赤)大地震と(青)気候変動

災害救援ボランティア講座 気候変動編 第6期

〈埼玉県 開催〉

日程：2025年 7月26日（土）
7月27日（日）

会場：自治医科大学附属さいたま医療センター
南館 2 階講堂

主 催：公益財団法人日本法制学会 災害救援ボランティア推進委員会
共 催：公益社団法人SL災害ボランティアネットワーク
後 援：総務省消防庁・埼玉県



主催団体紹介

【災害救援ボランティア推進委員会】

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて、1995年7月に大都市での大地震災害に備えたボランティアリーダーを養成することを目的に結成された委員会で、公益財団法人日本法制学会内委員会です。
設立時代表は元内閣官房副長官、石原信雄、現会長は香山充弘、元総務省事務次官です。
1995年12月に災害救援ボランティア基礎講座を開講し、以後、今日まで首都圏を中心として講座を開講し、約1万3千人以上のセーフティリーダー（略称はSL）を養成してきました。

【公益社団法人SL災害ボランティアネットワーク】

養成されたSLによるボランティア活動組織がSL災害ボランティアネットワークで、2014年3月に公益認定を受け、公益社団法人として首都圏を中心に活動しています。

【公益財団法人日本法制学会】

1913年3月に創立された組織で、1951年8月に財団法人、2014年4月に公益認定を受けて公益財団法人となり、公益目的事業として災害救援ボランティアリーダーを養成しています。
現会長は村田吉隆、元防災担当大臣です。

気候変動編の開催趣旨



昨年の令和6年能登半島地震・大水害により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本会は現在、能登半島地震・大水害に際して、被災者の生活再建支援、被災地の復旧・復興支援のボランティア活動を進めているところです。地震多発国の日本においては、突発的に発生する大地震災害に備える地域での活動、被災地支援活動は重要な活動であり、本会は1995年以来、この活動を推進してきました。

同時に近年、地球温暖化による気候変動に伴う気象災害での被害が世界と日本で深刻な問題となるなかで、日本でも、国際的な枠組みを取り入れた気候変動適応法が2018年6月に制定され、2020年6月には「気候変動×防災」に関する共同メッセージが、環境大臣と内閣府（防災担当）大臣連名で発表され、2023年4月に気候変動適応法が改正されるなかで、気候変動に適応した新たな活動が求められるようになりました。

そこで本会は、気象災害での新たな被害に対応するために災害救援ボランティア講座（気候変動編）を2023年4月から新たに開講しています。この講座では気候変動により激甚化する気象災害での被害を回避、軽減する活動、気候変動適応活動を進めるリーダーを養成することを主な目的としています。

本会が想定する被害とは、第1は最大想定の上風速、雨量での大都市大水害、第2は暑熱環境による大規模健康被害です。これらの分野では新たに開始された防災気象情報、熱中症警戒アラート等の警報を活用した事前の避難行動等により、人的被害を回避、軽減する政策が重視されるようになり、住民とボランティアによる創意工夫ある新たな活動が求められるようになっていきます。

今回の講座は、気候変動による大きな被害が想定される埼玉県において開催されます。埼玉県民をはじめ、他県からの受講もお待ちしております。

2025年5月

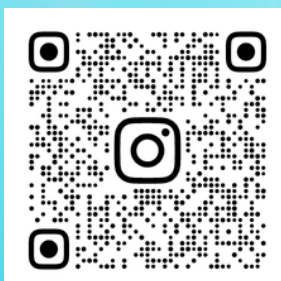
＜＜前回の講座の様子＞＞

2025年4月に実施した
第5期気候変動編講座の様子です。



＜＜SNSから講座情報をチェックできます＞＞

【Instagram】



【Facebook】



講義科目と時間割

※各講義後に10分休憩、昼に1時間休憩があります。

※都合により、日程・講師が変更になる場合があります。

7月26日（土）

09:40～09:50

事務連絡・オリエンテーション

09:50～10:50

気候変動と災害ボランティア活動

災害救援ボランティア推進委員会 委員長 澤野 次郎

11:00～12:10

気候変動を踏まえた水災害対策のあり方

一財）水源地環境センター理事長

元国土交通省海外プロジェクト審議官 平井 秀輝

13:10～14:20

暑熱環境と熱中症対策

自治医科大学附属さいたま医療センター

救命救急センター長・教授 守谷 俊

14:30～16:30

〈ワークショップ〉災害時の熱中症対策を考える

災害救援ボランティア推進委員会 総合防災部長 天寺 純香

16:30～16:45

セーフティリーダーの認定と活動

7月27日（日）

09:40～10:50

気候変動と日本の気象災害

横浜国立大学総合学術高等研究院客員教授

元気象庁長官 橋田 俊彦

11:00～12:10

気候変動と気候変動適応策

国立環境研究所気候変動適応センター長 肱岡 靖明

13:10～14:20

防災気象情報と避難行動

災害救援ボランティア推進委員会 委員長 澤野 次郎

14:30～16:30

〈ワークショップ〉防災気象情報とマイタイムライン

災害救援ボランティア推進委員会 総合防災部長 天寺 純香

16:30～16:45

閉講式・認定証授与

【講座会場】

自治医科大学附属さいたま医療センター 南館2階講堂

埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847

〈アクセス〉JR大宮駅からバス乗車（乗車時間10分程度）

募集内容

【定員】

30名

※定員になり次第、締め切ります。
(申込は1週間前まで)

【受講料】

一般…10,000円
学生… 8,000円

※SL-A（上級講座修了者）は
無料です。

【応募資格】

災害救援ボランティアに必要な
基礎的な知識・技能を
身に付けることを希望する方。
※18歳未満の方は、保護者の
承諾が必要です。

受講までの流れ

【STEP 1】 受講申し込みをする

下記のいずれかの方法でお申し込みが出来ます。

- ・当委員会ホームページから申し込み
- ・別紙の受講申込書にてFAXで申し込み〈FAX：03-3556-8217〉

※受講申込書はホームページからもダウンロードできます。

HPからの
お申込みは
こちら



【STEP 2】 受講資料と振込用紙が届く

講座初日の約1か月前に、受講書類（諸注意、地図、振込用紙等）が届きます。

【STEP 3】 受講料の入金

受講料を期日までにご入金ください。入金確認が出来た方は講座受講中の
不慮の事故発生に備えて、事務所で一括して保険加入手続きをいたします。

【STEP 4】 当日、会場へお越しください

認定証の交付

講座の全科目を修了し、成果が確認された方には、
災害救援ボランティア推進委員会より【セーフティリーダー認定証】が交付されます。

「わが身・わが命は 自分で守る」



セーフティリーダーの認定と活動

講座2日間を修了したセーフティリーダー（SL）は、【公益社団法人SL災害ボランティアネットワーク】に
入会することができます。

入会すると、SL災害ボランティアネットワークから各種行事・訓練・施設見学会等のお知らせおよび
ニュースレターなどが送られます。

また、入会者で「基礎講座（地震編）」を併せて受講いただくと、ステップアップ講座である

「災害救援ボランティア上級講座」の受講資格も得られます。

さらに、希望者には【SL制服】の貸与も可能です。

SL制服は平時、災害時を問わず使用することができます。

ぜひ講座を受講し、SLとして一緒に活動しましょう。入会に関しましては、講座でご説明します。

お問合せ先

災害救援ボランティア推進委員会
事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-15-2 九段坂パークビル3階
TEL：03-6822-9900 FAX：03-3556-8217
9：30～17：00（土日・祝日・年末年始を除く）